

第 1 回協議会・委員からの意見及び対応まとめ

2023 年 10 月 23 日 10:00～11:00

於：豊見城市役所 5 F 多目的室

1、沖縄県地域公共交通協議会・第 1 回資料（抜粋）より（資料 2-2）

No	内容	
	比嘉：	P5 の県の取組について補足しておく。今年度末の策定に向け、沖縄本島の陸上交通について県および 26 市町村・交通事業者と検討を進めている。7 月に第 1 回、11 月に第 2 回施策について、委員会ですり合わせを行っているところである。資料 2-3 で 105 番の位置づけ・補助について書かれている箇所については現在陸上交通版で調整しているところであり、文言や表現については持ち帰って確認する。
	村上：	上記について追加の補足として、対象を幹線とするために沖縄県で検討しているが、国のスケジュールもあるので、国庫補助に当たって沖縄総合事務局にもスケジュールや記載内容等の情報共有をお願いしたい。
	事務局：	国および県に対して、今後も情報を共有する。

2、那覇市・豊見城市における公共交通の利用状況把握（資料 2-3）

No	内容	
	小川：	調査結果では通学が 2 割以下となっているが、小禄高校への通学は一定数あったように思われる。この中には含まれているか。
	事務局：	この調査では小禄高校への通学は含まれていない。別途調査した OKICA データの分析によれば、奥武山公園駅⇄小禄へのバス移動は一定数見られるが、ほとんどが 105 番以外の路線を利用していた。運行本数の都合から、105 番以外の利便性が高いためと思われる。

3、豊見城市「ラストワンマイル交通」に関する需要調査（資料 3-1）

No	内容	
	津波古：	本件については市・タクシー協会が協力して対応を進めている。市内タクシー事業者への利用促進や事業維持に関する支援となるため、感謝している。バス利用者が自宅までタクシーを利用するというモデルは、高齢者・交通弱者の方への支援にもなるので需要喚起につなげていきたい。 またここで、1 年前から進めており、明後日から実施するタクシー料金値上げについて報告する。現在初乗り 560 円が 600 円となり、以後 70 円ずつが 100 円の加算に変更となる。これにより事業者の赤字補てんや利用者の利便性向上、乗務員の待遇改善を進める。

	<p>本調査は2ヶ月と短期間だがしっかり広報して周知に努めると聞いているので、タクシー側も乗務員・オペレーター等確実に対応できるよう準備している。乗務員不足が話題となっており、曜日・時間帯によっては電話がつかない、配車できないなどの問題が発生しているが、タクシー事業者・オペレーター等不足のないよう努める。</p>
--	---

4、パーク&ライド駐車場のニーズ調査（資料 3-3）

No	内容	
	比嘉：	この施策はマイカー通勤者が市内駐車場に自家用車を駐車し、そこからバスに乗り換えてもらう取組か。
	事務局：	指摘の通りである。資料末尾にアンケート票を挙げており、問 11 に駐車場の希望位置を質問している。
	比嘉	アンケートでは県道 256 号だけでなく市東部の県道 7 号も含まれているが、そちらでの実施も検討対象としているのか。
	事務局	市西部の県道 256 号は路線バスの運行本数が多いので、そちらを利用するというのは当初の想定としてあったが、それ以外にも県道 7 号や真玉橋など市内でニーズのある場所について可能性を探る予定である。
	比嘉	沖縄県でも現在南部の交通課題について議論を進めている。南部市町村の渋滞緩和に向けて参考にさせていただきたい。
	事務局	調査結果については共有する。

5、豊見城市中央線沿道地域（大規模集客施設立地（既存・建替））について（資料 4）

No	内容	
	小川：	通常、大規模施設の話は計画時点では公共交通事業者へは共有されず、決定後に知らされる形になることが多い。今回のように事前に協議会で報告いただけるのはありがたい。
	津波古：	タクシー協会としてもこのような情報共有はありがたい。
	村上：	開発と交通についてセットで進めていく方針は国として進めているので、この方向で今後も政策立案をしていただけるとありがたい。
	事務局：	今後も随時協議会等で報告する。